

# 被災者本位で町再建



地図を前に集団移転先の構想について話し合う住民ら  
2012年7月、新地町(地域計画連合提供)

## 新地のまちづくり

東日本大震災で被災した新地町のまちづくりが注目を集めている。仮設住宅や今後の集団移転先でも元の集落の「コミュニティ」が維持されるよう努めつつ、被災者それぞれの事情やニーズを酌んだ「オーダーメードの再建」として、日弁連などが評価している。

### ■ 地域と切り離さず

「地域の人と同じところに住みたかったので良かった」。新地町の仮設住宅で

荒トキ子さん(76)が笑顔を

見せた。

一緒に編み物をしていた

# 集団移転「絆」を維持

整備が進む新地町の集団移転用地=6月

所などを議論。高齢女性が「私の意見も聞いてくれるし、面白い」と漏らしたという。

委員長の中野明安弁護士は「『話し合いに時間をかけると復興が遅れる』といい、多くの自治体が『上限100坪に抑えているが、家族数が多い世帯や収納設備が必要な漁業者らを中心にして、今年秋から集団移転先で住宅が建ち始める。」

委員会のメンバーら約10人が6月、同町を訪れ、感嘆の声を上げた。



先の1区画の面積だ。「平均100坪(約330平方メートル)」という国の基準に従い、多くの自治体が「上限100坪に抑えているが、家族数が多い世帯や収納設備が必要な漁業者らを中心にして、今年秋から集団移転先で住宅が建ち始める。」

委員長の中野明安弁護士は「『話し合いに時間をかけると復興が遅れる』といい、多くの自治体が『上限100坪に抑えているが、家族数が多い世帯や収納設備が必要な漁業者らを中心にして、今年秋から集団移転先で住宅が建ち始める。』」

**Q 新地町 東京電力福島第1原発から北に約50kmの位置に町役場があり、宮城県との県境にある。1日現在の人口は7982人で、東日本大震災直前は8387人。**

津波などで116人が死亡し、116人が死傷した。住宅約630戸が全半壊した。

**二一ズを施策に反映**  
新地町の復興計画策定に携わった上村靖司・長岡技術科学大准教授の話  
町職員が住民と顔の見える信頼関係を築き、把握させていた

地域から切り離さないよう配慮された。50代の女性は、元の地域住民の集団移転先に町が併設する一戸建ての災害公営住宅に入る。「知り合いと同じところに行ける」

東日本大震災では多くの自治体が仮設住宅入居を抽選で決めた。住民離散が相次ぐ中で、新地町の加藤憲郎町長(66)は避難所を再編

する。若者も含め多様な世代がまちづくりに関わっていい印象だ。被災した土地の買い上げ価格を早く示す意義も大きく、住民が具体的に再建を考える材料を提供した。丁寧さとスピードのめりはりが利いている。

ほかの被災地ではこうした会合に高齢男性が目立つたが、町は女性も多く参加するよう促した。移転先ごとに集会所や道路の設置場

### ■ 女性参加

するなど「コミュニティ重視」を重視。まとまっているため、早い段階から住民の話し合いが進んだ。

### ■ 住民納得

するなど「コミュニティ重視」を重視。まとまっているため、早い段階から住民の話し合いが進んだ。

新地町の特色が集団移転先の1区画の面積だ。「平均100坪(約330平方メートル)」という国の基準に従い、多くの自治体が「上限100坪に抑えているが、家族数が多い世帯や収納設備が必要な漁業者らを中心にして、今年秋から集団移転先で住宅が建ち始める。」

新地町の特色が集団移転先の1区画の面積だ。「平均100坪(約330平方メートル)」という国の基準に従い、多くの自治体が「上限100坪に抑えているが、家族数が多い世帯や収納設備が必要な漁業者らを中心にして、今年秋から集団移転先で住宅が建ち始める。」

新地町の特色が集団移転先の1区画の面積だ。「平均100坪(約330平方メートル)」という国の基準に従い、多くの自治体が「上限100坪に抑えているが、家族数が多い世帯や収納設備が必要な漁業者らを中心にして、今年秋から集団移転先で住宅が建ち始める。」

新地町の特色が集団移転先の1区画の面積だ。「平均100坪(約330平方メートル)」という国の基準に従い、多くの自治体が「上限100坪に抑えているが、家族数が多い世帯や収納設備が必要な漁業者らを中心にして、今年秋から集団移転先で住宅が建ち始める。」